



学校だより

鯛ノ巣

●学校スローガン

キラリ輝く 阿井っ子

あいさつ 一生懸命 あいじょう

島根県仁多郡奥出雲町立阿井小学校

令和3年10月号 10月21日発行

学校保健委員会

メディアとの上手なつきあい方を考える



今年度の学校保健委員会は、4年生以上の児童と保護者、地域の関係者の方が参加して、メディアとのかかわり方を考える研修会として開催しました。鳥取県情報モラルエドゥケーターの今度さんを講師として、オンラインによるリモート研修という形で実施しました。

今度さんは、日常生活の中でどの程度メディアとのかかわっているのか振り返り、各自が自分の課題について意識を向けるようにされました。そしてこれからどのようにメディアと接していけばよいのか考える時間をもたれました。

こんな人はネット依存症に要注意です

- ▲連続2時間以上、ゲーム・ネットをしている
- ▲やらないとイライラしたり不安になったりする
- ▲やめたくてもやめられない
- ▲ついつい、使っはいけないときでも使ってしまう

自分で管理し
コントロール
できる力を

研修後には、各自が考えたものを家庭に持ち帰り、家の人のアドバイスも受けながら、生活の中の優先順位を考えていきました。

現代社会は情報化社会とも言われ、大人だけでなく、子どもの生活の中にもコンピュータが浸透しています。瞬時に世界の情報が得られ、仕事の効率化が図られるなど多くのメリットがある半面、ネットを利用した人権侵害、ネット依存症など様々な弊害も指摘されています。このような状況の中、メディアとのかかわりを改めて見つめ直し、自分でコントロールする力をつけることの大切さを伝えていただきました。児童にとっても参加された皆さんにとっても、学びの多い研修の場となったと思います。

●生活の中の優先順位をつけましょう

●家族のかかわり合いが大事です

自分の優先順位を考えてみましょう。家族団らん、リラックスタイム、テレビ、勉強…。優先順位を明らかにし、自分で意識することによって、メディアとの接触の時間もコントロールできるようになります。

何よりも大事なことは、家庭の中で家族とのかかわり合いを深めていくことです。親の習慣が子どもの習慣となります。子どもからの問いにスマホ画面を見ながら答えていませんか？親がよいモデルを子どもに示しましょう。そして、家族団らん、親子のかかわり合いを大事にしましょう。

●機能制限・レーティングを活用しましょう

端末の機能制限や時間設定など、子どもが利用する端末に保護者が制限を加えることができます。(フィルタリングは青少年を違法・有害情報との接触から守るはたらきがあります) また、レーティングにより、ゲームソフトの表現内容に従って、利用対象となる年齢が表示されています。(暴力・犯罪・非合法的行為など) 購入前に調べてみるのもいいですよ。

健康教育 授業公開

15日の授業公開では、それぞれの学級で健康教育に関する学習を公開しました。健康教育は、子どもたちが生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基盤を培うことを目標にしています。



1年 みんなといっしょに楽しい給食

2年 食べ物のグループ分けをしよう

3年 かけがえのない命：パースティブプロジェクト



4年 災害から命を守る

5年 メディアとわたしたちの生活

6年 思春期の自分とメディアとの付き合い方を考えよう

秋 深まる



校庭の木々が色づき始めたり、落葉したりしてきました。秋も深まっています。

秋の阿井路を走る ロードレース大会

ご声援ありがとうございました



颯爽と駆け抜けていきます



高学年の部 緊張のスタート



鯛ノ巣山も小学生を見守っています

阿井幼稚園の皆さんにも応援していただきました。

行事予定

- 10月◇◇◇◇
- 23日(土) 鯛ノ巣登山・遠足(予備日27日)
- 27日(水) 遠足・登山予備日 弁当
- 31日(日) 数リンピック・3年親子活動
- 11月◇◇◇◇
- 3日(水) 文化の日
- 5日(金) 学習発表会(校内)
- 6日(土) 学習発表会(保護者・関係者対象)
- 8日(月) 振替休業日

- 9日(火) 修学旅行事前研修会・事前検診(6年) スクールカウンセラー来校
- 10日(水) 全校集会
- ★13日(土) あいっこの集い(福振協青少年育成委員会主催)
- 15日(月) 炭焼き体験(島上:6年)
- 17日(水)・18日 修学旅行(石見方面:6年)
- 20日(土) 斐伊川神戸川流域環境マップづくり成果発表会(4年代表)
- 23日(火) 勤労感謝の日
- 25日(木) スピーチ集会(1・3・5年)
- 29日(月) お話出前 仁多中校区教育を語る会(教職員参加)
- 30日(火) 再生可能エネルギー・プログラミング教室(6年)



防災教育 自分で守る 自分たちで守る大切な命

自助

公助

共助

東日本大震災や平成30年の西日本豪雨をはじめ、我が国では様々な自然災害が発生しています。このような中、学校ではいかなる災害にも適切に対応し、生命を守りぬく能力を身に付ける防災教育の推進に力を入れています。4年生は社会科の「自然災害からくらしを守る」という単元において、防災についての学びを深めていきました。



奥出雲町では、島根県や消防署など、関係機関と連携しながら、災害につよい町づくりがすすめられています。奥出雲町総務課の防災担当の方をお招きし、町の防災体制や取り組みについて、お話を聞きました。この夏の大雨の際には、4日連続で役場に泊まりこまれたそうです。住民の命を支える大切なお仕事に関わっていらっしゃることを学びました。

準備していただいた段ボールベッドや段ボールのついたてを組み立てました。ベッドは格子状に段ボールを組み立てることで強度が生まれ、90kg程度の重さにも楽々耐えられるそうです。



「支え愛がポイントです！」

「丈夫な段ボールベッドだね」



阿井の地域防災組織づくり部長の福田さん、阿井公民館長さんをお招きし、阿井地区で進められている自主防災についても学びました。毎年のように発生する災害に対して、日頃から備えをしておくこと、隣近所との結びつきや支え合い（支え愛）を大事にした阿井のまちづくりを進めていくことなどを話されました。安心・安全な阿井地区を目指して地域の皆さんが活動されていることを学び、子どもたちは、阿井に住んでいることに安心し、誇りを感じたようでした。

学習のまとめとして、「〇〇家の避難カードをつくろう」というテーマで、自分なり（自分の家なり）の避難カードづくりに取り組みました。土砂災害ハザードマップを利用して避難所までの経路を確認したり、いざという時のための持ち出し用バッグの中身を考えたりと、一人一人が自分の家にあったカードに仕上げていきました。この先、災害に遭遇しても今回作成した避難カードがきっと生かされることでしょう。



4年

牛を育てる

4年生は、福原の渡部さんの牛舎見学をして畜産について学んだ後、共進会に参加し牛の審査を体験しました。



秋・点描

連合研修 いかだづくり

5年



5年生は、サンレイク職員の方の協力を得ながら、仁多地域の他校の5年生と一緒に研修を行いました。いかだづくりが主な活動でした。はじめて出会う仲間との共同作業です。最初のうちは皆緊張した様子でしたが、グループの仲間と知恵を出し合い、協力しながらいかだを作りあげることができました。完成するとさっそく、湖で船に乗り込み、成功をみんなで喜び合いました。新型コロナウイルス感染予防のため、宿泊はできませんでしたが、とても有意義で思い出に残る一日となりました。

平和について考える

6年

昨年に続き、堀山根の藤原さんから戦時中のことについて、お聞きしました。藤原さんは、戦時中に阿井小で小学校時代を過ごされました。戦地に向かわれる兵隊さんを激励するため、鋳物屋橋付近に早朝何度も集まったり、兵士の方への食糧として毛無山（高野町）まで山菜をとりに出かけられたりしたそうです。6年生は、藤原さんのお話から当時の様子を想像し、今の時代と対比しながら、平和への思いをめぐらせていきました。「自ら判断する力をつけることが大切です。」という藤原さんからのメッセージを子どもたちはしっかりと受け止めていました。



いわれてうれしいことば

1年

言葉あつめの勉強のなかで、「言われてうれしい言葉」を考えました。心とむ言葉ですね。

ありがとう。ごめんね。うれしいよ。ともだちになって。おめでとう。いってくれてよかった。たすかったよ。がんばったね。かわいいね。すごいね。てつだおうか。すてきだね。がんばれ。やさしいね。きれいにしたね。いいよ。いっしょにあそぼう。だいじょうぶ。いっしょにするとたのしいね。

2年

カルプラ図書室たんけん

2年生はカルチャープラザ仁多図書室を見学しました。司書の石飛さん、勝部さんから図書室の施設の紹介、大型絵本の読み聞かせをしていただきました。自分が読みたい本も一人2冊ずつ借りました。蔵書冊数が3万冊もあり、学校の図書館との違いもたくさん見つけることができました。読書の楽しさを一層ふくらませてくれる空間でした。



野菜ハウスの見学

3年

3年生は社会科の学習として八幡の永瀬さんの野菜ハウスを訪れ、ハウス栽培の様子を学びました。7月に続いて2度目となる今回は、シャインマスカットやパプリカの収穫の体験もさせていただきました。心を入れて野菜・果物の生産を行っておられるご夫妻の姿から多くのことを学ぶ良い機会となりました。

